

平成29年度 学校評価

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>1 生徒一人一人の実態を把握し、実態に即した分かりやすい授業のための指導方法の工夫と改善 2 生徒の自己認識を深めるための支援の充実 3 生徒の健康・安全に関する意識や社会的規範意識の向上 4 防災教育を中心とした実践的な安全教育の推進 5 委員会活動、生徒会活動、舎生会活動等を通じた生徒の主體的な活動の促進 6 教科会の充実とともに、現職研修、職業種目研修、授業研修の積極的な実施 7 交流及び共同学習を始めとする校外における体験活動の充実 8 行事の精選、会議の効率化、部活動の見直し等による教職員の多忙化解消の促進</p> <p>※各校務分掌の重点目標は、上記「本年度の重点目標」に関連した内容を設定し、番号で示す。</p>			
担当	重点目標	番号	具体的方策	留意事項
総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携体制を深める。 ・教育活動や PTA 活動を広く伝える。 	<p>2</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTA 行事の内容の工夫や呼びかけにより参加者を増やし、保護者が教育活動を知り関わる機会を増やす。 ・ 学校便り、PTA 便りの発行を通して教育活動、PTA 活動等の効果的な情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 役員を始めとする保護者の意見を取り入れ、興味をもてる行事内容を工夫し計画的に実施する。 ・ 教育活動等の様子がより一層伝わるように、便りの内容を見直す。
教務部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態や時代に即した教育課程を編成する。 ・ 生徒の実態に即した分かりやすい授業内容や指導方法を検討する。 	<p>1</p> <p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ より生徒の力が育つ教育課程の編成をするために学校全体で検討、編成をする。 ・ 教育支援部と連携を取り、日程、時間割、教員の調整をし、校内研究の効果的な推進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育課程委員会を中心に、教育課程の検討を行う。各教科会で現在の教育課程の見直しを行い、検討する。 ・ 時間割表での公開授業の呼びかけ、参観率を高める。
教育支援部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態に即した分かりやすい授業内容や指導方法を検討する。 ・ ホームページの適正化を図るとともに、本校の魅力を発信する。 	<p>1</p> <p>6</p> <p>5</p> <p>7</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内研究で、道徳や職業生活の公開授業の実施や振り返りを行う。 ・ 学校ホームページの必須要素を取り入れる。 ・ 計画的な更新と部活動ページの新設をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究推進委員会を中心に教科会Ⅲや学年、教務と連携し、計画的に進める。 ・ 評価項目に沿って見直しをする。 ・ 分掌や部活動、学年と連携を取り、計画的に進める。
生徒指導部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災を中心とした実践的安全教育を深める。 ・ 生徒中心の会議等を行い、主体性を養う。 ・ 道徳教育を通し、いじめをしないという意識を作る。 	<p>4</p> <p>5</p> <p>6</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災キャンプを中心に、災害の知識や対応について学習する。 ・ 生徒の意見が具現化できる会議を設定し、自分達で物事を決め、責任もった行動ができるようにする。 ・ 公開授業前後に打ち合わせを行い、共通理解を図る。 ・ 生徒会通信（アンケート）を3回実施し、生徒を取り巻く環境を把握し、対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の記録を取り、掲示物等を通して学習した内容を伝える。 ・ 会の進行の記録を取り、次回までに反省し、より効率のよい進行ができるようにする。 ・ 授業記録を通し、生徒の理解度や実態を把握する。 ・ 生徒会通信（アンケート）は無記名で実施する。
保健体育部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食育の推進と学校給食の充実を図る。 ・ 生徒・教職員の健康・安全に関する意識を高める。 	<p>1</p> <p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養教諭と、関係する教諭が連携し、食育の指導体制づくりを行う。 ・ 地産地食や食文化などの理解を深める。 ・ 危険予知トレーニングを作業学習で行い、安全に関する意識を高める。 ・ 校内の巡視を定期的に行い、危険箇所を早急に調査、改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各職員が連携を取り、食育や学校給食に関する授業を計画的に行う。 ・ 学校給食を生きた教材として活用する。 ・ 工業科主任と連携し、教科会Ⅱで iPad 等を使用した本校独自の危険予知トレーニングの実施方法を話し合う。

進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の共通理解を図り、生徒一人一人に則した進路活動を進める。 同窓会活動の充実を図る。 	1 2 5	<ul style="list-style-type: none"> 企業で得た情報から企業が求める生徒像を会議等で発信していく。 1、2年生から進路への意識をもち、自己認識を深めるために、講話を行い、職業生活の授業とも連携していく。 同窓会報を発行し、卒業生同士のつながりを深め、愛校心を深める。 同窓会入会式を行い、同窓生として、在校生としての愛校心を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の生かし方を検討し、部会では主事が、学年では担当が伝える。 一人一人の進路の意識に目を向け、焦点を当てて指導ができるようにする。 同窓会報の内容を吟味し、読みやすい、興味をもてる内容を検討する。 入会式を通して同窓会の意味、役割を理解し、帰属意識を高める。
寮務部	<ul style="list-style-type: none"> 自己認識を深め、お互いの長所や短所を認め合う心や態度を養う。 健康や安全に対する意識を高め、その場の状況に応じた行動ができるようにする。 	2 3	<ul style="list-style-type: none"> 生徒一人一人との面談をし、不安や悩みなどを話すことができる機会を設ける。 生徒、教職員の意識を高め、お互いの長所や短所を認め合う雰囲気をつくる。 服用している薬について理解を深め、薬の取扱いについても意識を高める。 避難の方法や経路について理解を深め、安全に身を守る方法について、自ら考える力を養うため、防災学習を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いて話ができるようにゆとりのある計画を立て、話しやすい雰囲気をつくる。 落ち着いて薬の服用ができるように、食事指導中の指導員の役割を検討し、生徒にも薬について定期的に確認を行う。 防災学習のねらいについて共通理解を図り、指導を充実させる。
運営委員会 部会	<ul style="list-style-type: none"> 教職員の多忙化の解消を図る。 	8	<ul style="list-style-type: none"> 仕事の分担、会議の効率化、部活動の見直し等、多忙化解消につながる方策を考え、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で意識し取り組む。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目	各校務分掌の重点目標を評価項目とし、各重点目標の達成度を下記評価基準に則して評価する。			

※評価基準 A：計画どおりに進んでいる。 B：ほぼ計画どおりに進んでいる。
 C：あまり計画どおりに進んでいない。 D：計画どおりに進んでいない。